



働く人の健康を守る労働衛生教育

人間科学部 教授 山崎 雅之

働くことは、多くの人の長い人生の中で非常に大きな位置を占め、誰もがあらゆる側面において健康に働くことが求められる。ゆえに労働衛生教育は働く人々の健康と安全を守るために欠かせない取り組みである。職場には多くの健康リスクが存在し、たとえば長時間労働、過度なストレス、化学物質への曝露などが挙げられる。これらのリスクを正しく理解し、予防するためには、労働環境を適切に管理し保つこと、労働者自身も正しい知識を持つことが重要である。労働衛生教育を通じて、安全な作業方法や健康管理の基礎を学ぶことで、事故や健康被害の発生を未然に防ぐことができる。また、健康経営の側面からは職場全体で健康増進を推し進めることにより、快適で働きやすい環境が築かれ、生産性のパフォーマンスも向上する。就職前の学生が労働衛生を学ぶことは、自身の将来の働き方を考えるきっかけにもなると同時に今後ますます多様化する労働環境に対応するためにも必要であり、継続的な教育が求められている。

